



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 KYCOMホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9685 URL <https://www.kyd.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）吉村 仁 博
問合せ先責任者 （役職名）管理部長 I R 担当 （氏名）山室 純子 TEL 0776-34-3512
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,781	4.3	69	5.5	87	5.3	56	1.6
2026年3月期第1四半期	1,708	10.2	65	△15.4	82	△10.1	56	4.2

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 4百万円（△96.2％） 2026年3月期第1四半期 118百万円（30.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	11.22	—
2026年3月期第1四半期	11.04	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	8,812	5,269	59.8	1,037.46
2026年3月期	8,872	5,316	59.9	1,046.58

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 5,269百万円 2026年3月期 5,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	3,620	3.9	200	△13.3	230	△9.1	150	△25.9	29.53
通期	7,590	5.1	630	5.3	700	3.9	450	△15.5	88.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	5,115,492株	2026年3月期	5,115,492株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	36,050株	2026年3月期	36,050株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	5,079,442株	2026年3月期1Q	5,079,442株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続による景気の下振れ懸念のほか、中東情勢の緊迫化を受けた資源価格高騰や供給制約の影響等により、先行き不透明な状況が続きました。

このような事業環境のもと当社グループは、主力であるIT関連分野を中心に、ソフトウェア開発及び関連業務においてグループ各社の連携を一層強化し、ユーザーにより近い立場で開発・サービスを提供できるように企業体質の強化をしてまいりました。また、コンピュータ関連サービス分野におきましては、教育機会の拡充を通じてサービス品質の向上及び高度化を図るとともに、顧客ニーズに即した提案営業の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は17億81百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は69百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益は87百万円（前年同期比5.3%増）となりました。これに、税金費用を加味した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は56百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

当社グループの報告セグメントは、業績の評価、事業戦略の構築、経営資源の配分等を行ううえで重要性に基づいて決定しており、「情報処理事業」、「不動産事業」、「レンタカー事業」、「無線ソリューション事業」の4つで構成されています。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、情報処理事業では、DX/AI関連システム、ERPシステム、ローコード・ノーコードシステムの開発需要もあり、売上高16億72百万円（前年同期比4.4%増）となりました。その一方、必要とされる新技術への対応力強化を目的とした教育研修機会の拡充や従業員の待遇改善による人件費等のコストも引き続き増加しており、営業利益42百万円（前年同期比3.8%減）となりました。不動産事業では、太陽光発電所における日射量の増加等により、売上高69百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益33百万円（前年同期比11.2%増）となりました。レンタカー事業では、需要は回復拡大傾向にあるものの、カーシェアリングとの競合等により客足が伸び悩み、車両関連費用、人件費等のコストが上昇したことから、売上高42百万円（前年同期比3.8%増）、営業損失4百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。無線ソリューション事業では、予定していた案件の一部先送りに加え仕入原価等の上昇により、売上高30百万円（前年同期比5.6%減）、営業損失26百万円（前年同期は12百万円の営業損失）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は88億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円の減少となりました。

流動資産は36億37百万円となり、58百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3億63百万円増加したこと、並びに売掛金及び契約資産が2億71百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は51億74百万円となり、1億18百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産の投資有価証券が76百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は35億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円の減少となりました。

流動負債は17億27百万円となり、42百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が1億25百万円増加したこと、及び短期借入金が60百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は18億15百万円となり、55百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が31百万円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,316,457	2,680,015
売掛金及び契約資産	1,113,345	841,691
商品	5,254	4,862
仕掛品	5,198	10,674
原材料及び貯蔵品	722	730
その他	143,548	104,708
貸倒引当金	△5,206	△4,685
流動資産合計	3,579,320	3,637,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	753,309	743,151
機械装置及び運搬具（純額）	402,592	383,233
土地	1,943,716	1,943,716
その他（純額）	75,054	69,354
有形固定資産合計	3,174,673	3,139,455
無形固定資産		
のれん	27,186	24,203
その他	6,477	6,278
無形固定資産合計	33,663	30,482
投資その他の資産		
投資有価証券	1,813,180	1,736,876
その他	295,700	291,821
貸倒引当金	△24,138	△24,138
投資その他の資産合計	2,084,742	2,004,559
固定資産合計	5,293,080	5,174,498
資産合計	8,872,400	8,812,495

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,395	87,388
短期借入金	320,000	260,000
1年内返済予定の長期借入金	191,696	183,436
未払金	352,376	379,661
未払法人税等	128,659	32,010
賞与引当金	283,770	409,614
その他	309,292	375,406
流動負債合計	1,685,189	1,727,517
固定負債		
長期借入金	1,532,871	1,501,312
退職給付に係る負債	29,915	29,905
その他	308,371	283,996
固定負債合計	1,871,157	1,815,213
負債合計	3,556,347	3,542,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,612,507	1,612,507
資本剰余金	7,309	7,309
利益剰余金	3,023,551	3,029,752
自己株式	△9,707	△9,707
株主資本合計	4,633,661	4,639,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	682,391	629,902
その他の包括利益累計額合計	682,391	629,902
純資産合計	5,316,052	5,269,764
負債純資産合計	8,872,400	8,812,495

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	1,708,822	1,781,576
売上原価	1,367,750	1,423,450
売上総利益	341,071	358,126
販売費及び一般管理費	275,161	288,623
営業利益	65,910	69,502
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,870	22,694
その他	3,883	2,156
営業外収益合計	23,754	24,851
営業外費用		
支払利息	5,718	6,478
その他	953	474
営業外費用合計	6,672	6,952
経常利益	82,991	87,400
特別利益		
固定資産売却益	1,265	—
特別利益合計	1,265	—
特別損失		
固定資産除却損	75	—
投資有価証券売却損	98	—
特別損失合計	174	—
税金等調整前四半期純利益	84,083	87,400
法人税等	27,979	30,405
四半期純利益	56,103	56,994
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,103	56,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,343	△52,488
繰延ヘッジ損益	97	—
その他の包括利益合計	62,440	△52,488
四半期包括利益	118,543	4,506
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,543	4,506

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書 (注) 2
	情報処理 事業	不動産 事業	レンタカー 事業	無線ソリ ューション 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,586,904	48,693	41,087	32,136	1,708,822	—	1,708,822
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14,894	17,582	—	—	32,476	△32,476	—
計	1,601,799	66,275	41,087	32,136	1,741,298	△32,476	1,708,822
セグメント利益又は損失 (△)	44,681	30,353	△2,758	△12,647	59,628	6,281	65,910

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。全社収益は各グループ会社からの経営指導料等であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書 (注) 2
	情報処理 事業	不動産 事業	レンタカー 事業	無線ソリ ューション 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,658,568	50,010	42,657	30,339	1,781,576	—	1,781,576
セグメント間の 内部売上高又は振替高	13,445	19,723	—	—	33,168	△33,168	—
計	1,672,014	69,734	42,657	30,339	1,814,745	△33,168	1,781,576
セグメント利益又は損失 (△)	42,963	33,762	△4,295	△26,963	45,466	24,035	69,502

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。全社収益は各グループ会社からの経営指導料等であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	36,896千円	36,026千円
のれんの償却額	2,982	2,982